

徳島県立近代美術館 運営計画

令和2年11月

徳島県立近代美術館の自己点検・自己評価

1. 目的

近年、生涯学習や文化に対する関心が高まる中、美術館には、機能の充実と特色のある運営、地域社会との繋がりを重視した運営や生涯学習の場としての、また地域の人々の生活の質の向上への支援が求められている。

これらの社会的要請に適切かつ速やかに対応していくため、独自の自己点検・自己評価システムに基づき、美術館活動の合理的計画的推進や改善、活性化を図り、徳島県立近代美術館の総合力の向上を図ることを目的とする。

2. 構成（仕組み）

① 期間 五年間ごと（一期間を5年とする）の中期 （第一期：H17～21 第二期：H22～26 第三期：H27～R1 第四期：R2～6）

② 中期計画・中期目標の項目設定

基本理念（使命）と事業方針に基づき、美術館の運営・管理事項を分類（R2～6、10分類）
各分類のもとに大項目と小項目を設定（R2～6、大項目31、小項目59）

③ 自己点検・自己評価

- ・ 進捗状況の確認（毎年度当初に前年度分を点検）
- ・ 中間点検と調整（4年目年度当初に実施）
中間点に於ける自己点検と評価報告書の作成
計画・目標の見直し調整
- ・ 達成状況の確認・次期中期計画の策定と目標設定（5年目年度末～次年度当初に実施）
当該期間の自己点検と評価報告書の作成

④ 業務改善

3. 手 順

自館の状況把握のための資料調査

自己点検アンケート（自己点検アンケート・自己点検項目の設定）

↓
自己点検アンケート結果に基づく認識の全館共通化

↓
自己点検項目による点検・評価（現状認識）

↓
基本理念・事業方針の策定（明文化）及び、必要に応じて再検討

↓
中期計画・中期目標の設定

↓
美 術 館 活 動

↓
自己点検・自己評価

状況に応じて実施

2. 構 成（仕組み）③ 自己点検・自己評価を参照。



（外部評価）

美術館協議会への報告等

業 務 改 善

↓
次期の実施

※ 重点取組事項

第四期（R2～6）

① 地域に根ざした活動、地域連携

② 利用者サービス（対応）の向上

③ 資料整理

④ 情報発信

4. 自己点検・評価等第三期実施計画（一期 5年）

年 度	自己点検 (必要に応じて)	中期計画・目標設定	進捗状況点検	中間点検・調整	達成状況点検	備 考
令和2年度	○	○	○(次年度当初)			
令和3年度			○(次年度当初)			
令和4年度	△	△	○(次年度当初)	○		
令和5年度			○(次年度当初)			
令和6年度			○(次年度当初)		○(年度末～	達成度点検・反映
令和7年度	○	○	○(次年度当初)		次年度当初	第五期 開始

徳島県立近代美術館 中期計画・中期目標

(令和2年度～令和6年度)

1. 使命と計画

(中期計画) 使命にもとづいて中期目標を設定し、定期的に点検、評価を行う。

(中期目標)

中期目標の大項目		中期目標の小項目		年度別目標値等と実績・成果				
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1-①	中期計画の実施と、使命・事業方針等の周知	中期計画(5カ年)の自己点検・自己評価の実施 県民、美術館関係者等への使命・事業方針等の周知	目標値等	中期計画・目標設定(5カ年) 協議会等での使命・事業方針の周知	前年度末進捗状況点検 協議会等での使命・事業方針の周知	前年度末進捗状況点検 協議会等での使命・事業方針の周知 中間点検(目標の修正等)中間報告書作成	前年度末進捗状況点検 協議会等での使命・事業方針の周知 県民への実績周知	前年度末進捗状況点検 協議会等での使命・事業方針の周知 県民への実績周知 5カ年達成度点検/最終報告書作成(次年度当初)
			実績・成果	5カ年計画・目標設定 美術館協議会に報告 年報、HPで要旨を公開	5カ年計画・目標設定 美術館協議会に報告 年報、HPで要旨を公開	美術館協議会に報告し、事業内容とともに指標について意見を得た。 中間点検を行い、目標・指標を修正した。	美術館協議会に報告 年報、HPで要旨を公開	事業方針のうち、「資料収集方針」の一部変更(予定)

2. 資料の収集・保管・活用

(中期計画) 近代・現代美術や徳島ゆかりの資料の継続的な収集を図るとともに、良好な状態で保存し、その活用を図っていく。

(中期目標)

中期目標の大項目		中期目標の小項目	年度別目標値等と実績・成果				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2-①	継続的な資料収集	収集の重点ポイント設定 予算獲得 作品購入 寄贈・保管転換の受入 寄託作品の受入	目標値等 年度毎の重点作家、重点作品の設定 予算要求(前年度並み以上) 作品収集(購入、寄贈等)	年度毎の重点作家、重点作品の設定 予算要求(前年度並み以上) 作品収集(購入、寄贈等)	年度毎の重点作家、重点作品の設定 予算要求(前年度並み以上) 作品収集(購入、寄贈等)	年度毎の重点作家、重点作品の設定 予算獲得 作品収集(購入、寄贈等)	年度毎の重点作家、重点作品の設定 予算獲得 作品収集(購入、寄贈等)
			実績・成果 重点ポイント・作家・作品の改定 予算額 130万円 執行額 130万円 収集点数: 78点	重点ポイント・作家・作品の改定 予算額 350万円 執行額 220万円 収集点数: 1点	収集の重点ポイントを策定し54作家を設定。 作品50点を収集。 予算額 130万円 執行額129万円 購入2点 寄贈48点	収集の重点ポイントを策定し54作家を設定。 作品360点を収集。 予算額 130万円 執行額130万円 購入1点、寄贈359点	
2-②	作品調書の整備	作品点検(状態等) 調書整備(新規・更新)	目標値等 年間100点	年間100点	調書整備年間100点	調書整備年間100点	調書整備年間100点
			実績・成果 10点	130点	350点(新規16、更新334)	50点	
2-③	データベース	必須情報の完備 外部への公開促進 システムのメンテナンスと更改	目標値等 収集・出品データの登録率100% データの時点更新	収集・出品データの登録率100% データの時点更新	収集・出品データの登録率100% データの時点更新	収集・出品データの登録率100% データの時点更新(随時) システム更改・運用開始	収集・出品データの登録率100% データの時点更新(随時)
			実績・成果 収集・出品データの登録率 新収蔵作品登録 100% 出品データ登録 100% デジタルアーカイブ公開 121件	収集・出品データの登録率 新収蔵作品登録 100% 出品データ登録 100% デジタルアーカイブ公開 89件	新収蔵作品登録 100% 出品データ登録 100% データベース更新872件 デジタルアーカイブ公開 20件	新収蔵作品登録 100% 出品データ登録 100% データベース更新3,181件 デジタルアーカイブ公開 35件	

中期目標の大項目		中期目標の小項目		年度・目標値等と実績・成果				
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2-④	保管・利用	保管・利用(貸し出し含む)の方針・手続きの整備(ソフト面) 保管環境の点検と整備(ハード面):収蔵庫、展示室等	目標値等	現状の整理 保管環境の点検と改善	現状の整理 保管環境の点検と改善	現状の整理 保管環境の点検と改善	作品利用内規の策定 保管環境の点検と改善	作品利用内規の施行 保管環境の点検と改善
			実績・成果	現状の整理(予算減による特別展縮小にともなって、所蔵作品の展示頻度が増大しており、保管・利用の考え方について再考が必要) 点検実施(保管環境は設備の老朽化、予算不足等により不安定化)	現状の整理(予算減による特別展縮小にともなって、所蔵作品の展示頻度が増大しており、保管・利用の考え方について再考が必要) 点検実施(保管環境は設備の老朽化、予算不足等により不安定化)	作品利用内規の検討 収蔵庫の化学フィルタ交換 収蔵庫の内扉を修繕	作品利用内規の策定 展示室の化学フィルタ交換 照明LED化の検討	
2-⑤	保存・修復	計画的な修復の実施	目標値等	修復必要度の調査、優先順位設定(必要度のランク付) 緊急に必要な作品の修復実施	修復必要度の調査、優先順位設定(必要度のランク付) 緊急に必要な作品の修復実施	修復必要度の調査、優先順位設定(必要度のランク付) 緊急に必要な作品の修復実施	修復候補作品リストをもとに修復実施 緊急に必要な作品の修復実施	修復候補作品リストをもとに修復実施 緊急に必要な作品の修復実施
			実績・成果	順位1位級作品の選定作業中 修復の実施 1点	順位1位級作品の選定作業中 修復の実施 1点	修復候補作品リスト作成 修復の実施 2点	修復候補作品リスト作成 修復の実施 2点	
2-⑥	資料整理	未整理資料の整理	目標値等	未整理二次資料の全貌把握 未整理文献資料の全貌把握	未整理二次資料の全貌把握 未整理文献資料の全貌把握	未整理二次資料の整理を実施 未整理文献資料の整理を実施	二次資料の整理状況の再点検を実施 文献資料の整理状況の再点検を実施	二次資料の整理状況の再点検を実施 文献資料の整理状況の再点検を実施
			実績・成果	・未整理二次資料の整理を継続中 ・未整理文献資料の整理を継続中	・未整理二次資料の整理を継続中 ・未整理文献資料の整理を継続中	・二次資料整理状況の再点検、作業実施 ・文献資料の整理状況の再点検、作業実施	・二次資料整理状況の再点検、作業実施 ・文献資料の整理状況の再点検、作業実施	

3. 調査研究

(中期計画) 近代・現代美術や徳島ゆかりの資料に関する基礎的な調査研究、資料の保存や展示、教育普及活動等に関する調査研究を行うとともに、その成果の美術館活動への反映と地域社会への還元を図っていく。

(中期目標)

中期目標の大項目		中期目標の小項目		年度別目標値等と実績・成果				
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3-①	研究報告会、紀要	研究報告会の定期的開催 紀要の発行	目標値等	研究報告会 年4回程度開催	研究報告会 年4回程度開催	研究報告会 年4回程度開催	研究報告会 年4回程度開催	研究報告会 年4回程度開催
				紀要 年1回発行	紀要 年1回発行	紀要 年1回発行	紀要 年1回発行	紀要 年1回発行
			実績・成果	研究会 4回開催 紀要 1回発行	研究会 3回開催 紀要 1回発行	研究会 5回開催 紀要 1回発行	研究会 3回開催 紀要 1回発行	
3-②	研究体制	共通研究テーマの設定等、組織としての体系的な研究体制の整備	目標値等	共通研究テーマの検討	共通研究テーマの検討	共通研究テーマの検討	所蔵作品調査チーム結成	徳島ゆかり作品の調査
			実績・成果	テーマの設定を継続して 研究中	テーマの設定を継続して 研究中	テーマの設定を継続して 研究中	伊原宇三郎、山下菊二資料の整理を継続中	
3-③	基礎資料集	所蔵資料等に関する基礎資料集の作成	目標値等	調査・研究した資料の整理	調査・研究した資料の整理	調査・研究した資料の整理	実施の準備	デジタル化の検討・推進
			実績・成果	資料の整理とデータの点検を継続中	資料の整理とデータの点検を継続中	資料の整理とデータの点検を継続中	資料の整理とデータの点検を継続中	

4. 展示活動

(中期計画) 美術作品を通じて感動や体験のできる場を提供するとともに、近・現代美術を中心とした文化活動を先導していく。
 所蔵作品展は、コレクションの特徴を生かして、計画的に、できるだけ多くの所蔵作品を鑑賞する機会を提供し、
 特別展は、近代、現代、日本、海外、徳島ゆかりなど多彩な内容の展覧会を適時適切に開催する。

(中期目標)

中期目標の大項目		中期目標の小項目		年度別目標値等と実績・成果				
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4-①	特別展	特別展開催の維持(年数回) ストック(所蔵品・地元の遺産等)の活用 メリハリのある開催計画	目標値等	年数回	年数回	年数回	年3回以上 日本と海外、近代と現代、ユニバーサルなど幅広いラインナップで開催。	年3回以上 日本と海外、近代と現代、ユニバーサルなど幅広いラインナップで開催。
			実績・成果	4回開催	3回開催	5回開催 所蔵品や県内機関の資料を活かした企画、カミヤ風土、戦後彫刻史等の幅広い企画の展覧会を開催。	3回開催 海外の現代作家の個展、所蔵品や県内機関の資料を活かした企画等の幅広い企画の展覧会を開催。	
4-②	所蔵作品展	所蔵作品の魅力をより深く伝える工夫 展示会場や展示替え回数 の弾力的な見直しと運用	目標値等	年数回の展示替え 3本柱に加えた、トピックス的な見せ方等の工夫	年数回の展示替え 3本柱に加えた、トピックス的な見せ方等の工夫	年数回の展示替え 3本柱に加えた、トピックス的な見せ方等の工夫	年3回の展示替え テーマ性を持たせ魅力的な見せ方を工夫	年3回の展示替え テーマ性を持たせ魅力的な見せ方を工夫
			実績・成果	3回(大規模展示替え)	3回(大規模展示替え)	3回(大規模展示替え) 版画8回、中間展示替5回	3回(大規模展示替え) 版画11回、中間展示替4回	

中期目標の大項目		中期目標の小項目	年度別目標値等と実績・成果				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4-③	入館者	入館者数の維持(漸増)	展覧会 38,500人	展覧会 28,000人	展覧会 29,500人	展覧会 28,500人	展覧会 35,500人
		・展覧会入館者数 (特別展、所蔵作品展)	総入館者 49,500人	総入館者 39,000人	総入館者 40,500人	総入館者 39,500人	総入館者 46,500人
		・総入館者数		*予算の消長により修正	*予算の消長により修正		
		* (参) 総入館者数は、普及行事参加者、ギャラリー(貸館)入場者、共催事業参加者等を加えたもの	展覧会 27,810人 達成率 87%	展覧会 20,145人 達成率 63%	展覧会 19,521人 達成率 66%	展覧会 24,360人 達成率 86%	
			総入館者 51,607人 達成率 120%	総入館者 58,295人 達成率 136%	総入館者 58,602人 達成率 145%	総入館者数 68,444人 達成率 173%	
	入館者内訳	所蔵作品展 目標値	21,000人	21,000人	21,000人	21,000人	21,000人
		実績	10,531人	14,579人	12,364人	15,223人	
		特別展合計 目標値	17,500人	7,000人	8,500人	7,500人	14,500人
		実績	17,279人	5,566人	7,157人	9,137人	
		特別展 目標値	それぞれのながめ 3,000人	自転車のある情景展 3,000人	カミのかたち 1,500人	境界をこえる展 2,500人	ユーモア展 2,500人
		実績	1,117人	1,629人	1,789人	1,405人	2,671人
		特別展 目標値	ドイツ20世紀アート展 6,500人	子どものころ展 2,500人	日本の戦後彫刻 2,500人	カラーユニバーサル 1,500人	大久保英治展 2,000人
		実績	4,360人	2,743人	1,283人	3,014人	1,919人
		特別展 目標値	野外彫刻展 6,500人	アール・ブリュット展 1,500人	風土と美術 3,000人	ディーンボーエン 3,500人	エミール・ガレ展 10,000人
		実績	10,576人	1,194人	2,395人	4,718人	
		特別展 目標値	いのち輝く展 1,500人		思い出のアルバム 1,500人		
		実績	1,226人		481人		
		特別展 目標値			アール・ブリュット展 1,500人		
		実績			1,209人		
		普及、貸し館等 目標値 (チャレンジ等含む)	11,000人	11,000人	11,000人	11,000人	11,000人
		実績	23,797人	38,150人	39,081人	44,084人	
		備考	*新型コロナウイルスの感染拡大により、入館者数が激減した。				

中期目標の大項目		中期目標の小項目		年度 目標値等と実績・成果				
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4-④	有料入館者	有料入館者数の維持(漸増) :所蔵作品展 :特別展	目標値等	1,400人 7,500人	1,400人 7,500人 *予算の消長により修正	1,400人 7,500人 *予算の消長により修正	1,400人 7,500人	1,400人 7,500人
			実績・成果	(所蔵作品展)1,566人 達成率 119% (特別展)2,752人 達成率 37%	(所蔵作品展)1,540人 達成率 91% (特別展)1,130人 達成率 15%	(所蔵作品展)1,085人 達成率 78% (特別展)2,121人 達成率 28%	(所蔵作品展)1,347人 達成率 96% (特別展)4,381人 達成率 58%	
4-⑤	図録販売数	図録販売数維持(漸増)	目標値等	200冊	200冊	200冊	200冊	200冊
			実績・成果	64冊 達成率 32%	122冊 達成率 61%	109冊 達成率 54%	456冊 達成率 228%	
4-⑥	ギャラリー・講座室	ギャラリー・講座室の利用促進 利用日数の維持(漸増)	目標値等	方策の検討 ギャラリー:130日 講座室:10日	方策の検討 ギャラリー:130日 講座室:10日	方策の検討 ギャラリー:130日 講座室:10日	利用促進に向けた広報、勧誘 ギャラリー:130日 講座室:10日	利用促進に向けた広報、勧誘 ギャラリー:130日 講座室:10日
			実績・成果	ギャラリー: 65日 達成率 50% 講座室: 2日 達成率 20%	ギャラリー: 102日 達成率 78% 講座室: 2日 達成率 20%	ギャラリー: 105日 達成率 80% 講座室: 2日 達成率 20%	ギャラリー: 119日 達成率 90% 講座室: 7日 達成率 70%	

5. 教育普及活動

(中期計画) 展示や所蔵資料に関連した各種教育普及活動を通じて、楽しく学ぶことができる多様な学習機会を提供し、県民の生涯学習への支援を図っていく。

(中期目標)

中期目標の大項目	中期目標の小項目		年度別目標値等と実績・成果				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
5-①	学習活動の支援	展示や資料に関連した教育普及活動により、多様な学習活動を支援する。	目標値等	目標値等	目標値等	目標値等	目標値等
			展覧会関連事業 年20回 ワークショップ・講座 年10回 子ども向け講座等 年8回	展覧会関連事業 年20回 ワークショップ・講座 年10回 子ども向け講座等 年8回	展覧会関連事業 年20回 ワークショップ・講座 年10回 子ども向け講座等 年8回	展覧会関連事業 年20回 ワークショップ・講座 年10回 子ども向け講座等 年8回	展覧会関連事業 年20回 ワークショップ・講座 年10回 子ども向け講座等 年8回
5-②	学校連携	子ども達が美術品に親しむ機会や美術(美術館)に対する認識を深める機会を提供していく 鑑賞教育推進プロジェクト等の開催	実績・成果	実績・成果	実績・成果	実績・成果	実績・成果
			展覧会関連事業 34回(コロナ中止4回) ワークショップ・講座 1回(コロナ中止2回) 子ども向け講座等 5回(コロナ中止2回)	展覧会関連事業 年30回 ワークショップ・講座 年3回 子ども向け講座等 年9回	展覧会関連事業 年20回 ワークショップ・講座 年10回 子ども向け講座等 年8回	展覧会関連事業 年33回 ワークショップ・講座 年5回 子ども向け講座等 年8回	
5-②	学校連携	子ども達が美術品に親しむ機会や美術(美術館)に対する認識を深める機会を提供していく 鑑賞教育推進プロジェクト等の開催	目標値等	目標値等	目標値等	目標値等	目標値等
			学校団体の受入 年40回 団体解説の受入 年30回 インターン等受入 年5回 出前授業 年10回 鑑賞教育推進プロジェクト・授業研究会等の開催 年8回 教員研修会 年5回 鑑賞シートの配布数 3,600枚	学校団体の受入 年40回 団体解説の受入 年30回 インターン等受入 年5回 出前授業 年10回 鑑賞教育推進プロジェクト・授業研究会等の開催 年8回 教員研修会 年5回 鑑賞シートの配布数 3,600枚	学校の受入 年40回 学校向け解説 年30回 インターン等受入 年5回 出前授業 年10回 鑑賞教育推進プロジェクト・授業研究会等の開催 年8回 教員研修会 年5回 鑑賞シートの配布数 3,600枚	学校の受入 年40回 学校向け解説 年30回 インターン等受入 年5回 出前授業 年10回 鑑賞教育推進プロジェクト・授業研究会等の開催 年8回 教員研修会 年5回 鑑賞シートの配布数 3,600枚	学校の受入 年40回 学校向け解説 年30回 インターン等受入 年5回 出前授業 年10回 鑑賞教育推進プロジェクト・授業研究会等の開催 年8回 教員研修会 年5回 鑑賞シートの配布数 3,600枚

中期目標の大項目	中期目標の小項目		年別目標値等と実績・成果				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
5-②	学校連携	子ども達が美術品に親しむ機会や美術(美術館)に対する認識を深める機会を提供していく 鑑賞教育推進プロジェクト等の開催	実績・成果 学校団体の受入 5回 団体解説の解説 46回 インターン等受入 1回(コロナ中止2回) 出前授業 36回 鑑賞教育推進プロジェクト・授業研究会等の開催 4回 教員研修会 4回 鑑賞シートの配布数 6,662枚	学校団体の受入 3回 団体解説の受入 55回(コロナ中止5) インターン等受入 4回 出前授業 26回(コロナ中止3) 鑑賞教育推進プロジェクト・授業研究会等の開催 6回 教員研修会 11回 鑑賞シートの配布数 4,555枚	学校の受入 年10回 学校向け解説 年59回 インターン等受入 年4回 出前授業 年62回 鑑賞教育推進プロジェクト・授業研究会等の開催 年5回 教員研修会 年8回 鑑賞シートの配布数 7,554枚	学校の受入 年6回 学校向け解説 年46回 インターン等受入 年9回 出前授業 年42回 鑑賞教育推進プロジェクト・授業研究会等の開催 年3回 教員研修会 年8回 鑑賞シートの配布数 5,191枚	
5-③	関係機関との連携	社会教育機関等との連携 アウトリーチ事業	目標値等 団体の受入 年5回 団体解説の受入 年10回 博物館実習生受入 年1回 社会教育・生涯教育への講師派遣 年2回	団体の受入 年5回 団体解説の受入 年10回 博物館実習生受入 年1回 社会教育・生涯教育への講師派遣 年2回	団体の受入 年5回 団体解説の受入 年10回 博物館実習生受入 年1回 社会教育・生涯教育への講師派遣 年2回	団体の受入 年5回 団体解説の受入 年10回 博物館実習生受入 年1回 社会教育・生涯教育への講師派遣 年2回	団体の受入 年5回 団体解説の受入 年10回 博物館実習生受入 年1回 社会教育・生涯教育への講師派遣 年2回
			実績・成果 団体の受入 13回 団体解説の受入 4回 博物館実習生受入 1回 社会教育・生涯教育への講師派遣 8回	団体の受入 7回 団体解説の受入 3回 博物館実習生受入 1回 社会教育・生涯教育への講師派遣 9回	団体の受入 13回 団体解説の受入 6回 博物館実習生受入 1回 社会教育・生涯教育への講師派遣 10回	団体の受入 8回 団体解説の受入 4回 博物館実習生受入 1回 社会教育・生涯教育への講師派遣 11回	

6. 利用者の安全・快適さの確保

(中期計画) 安全で誰もが安心して、快適に利用できる、利用しやすい美術館となるよう施設や案内表示等の点検改善を図る

来館者対応及び、危機管理マニュアルの整備・更新を行う。

利用者アンケート等を通じてニーズを把握し、館運営への反映を図る。

(中期目標)

中期目標の大項目		中期目標の小項目		年度別目標値等と実績・成果					
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
6-①	施設の整備・管理	施設(ハード面)安全性の点検調査と、改善 施設管理者への働きかけ	目標値等	安全性点検調査 随時 施設管理者への働きかけ(必要の都度)	安全性点検調査 随時 施設管理者への働きかけ(必要の都度)	安全性点検調査 随時 施設管理者への働きかけ(必要の都度)	消防、空調等の定期点検に加えて、空調、虫害、外壁の重点的な調査と対応	消防、空調等の定期点検に加えて、空調、虫害、外壁の重点的な調査と対応	
			実績・成果	一部実施 必要に応じて働きかけている	一部実施 必要に応じて働きかけている	空調フィルタの点検 屋外展示場の安全性の点検	空調フィルタの点検 虫トラップ定期調査 展示室及び屋外展示場の安全性の点検		
6-②	対応マニュアルの整備と運用	来館者対応マニュアルの整備・更新(感染症対策を含む) 問い合わせ・相談(レファレンス含む)への対応方針の整備	目標値等	感染症対策を含む来館者対応マニュアルの検討 相談(レファレンス)対応方針の整備と対応	感染症対策を含む来館者対応マニュアルの検討 相談(レファレンス)対応方針の整備と対応	平成17年作成のマニュアルを運用 相談(レファレンス)対応方針の整備と対応	平成17年作成のマニュアルを運用 相談(レファレンス)対応	マニュアルの時点修正 相談(レファレンス)対応	
			実績・成果	マニュアルの更新及び相談対応方針の整備を継続して準備中 レファレンス対応 20件	マニュアルの更新及び相談対応方針の整備を継続して準備中 レファレンス対応 31件	全国博物館協議会の感染拡大予防ガイドラインを準用 相談(レファレンス)対応方法の確認 レファレンス対応22件	レファレンス対応31件		
6-③	利用者ニーズの把握と反映	各種アンケートの集計と分析 ニーズ把握と館運営への反映 県民の意見、ニーズの把握手法の検討	目標値等	アンケート集計と分析 館運営への反映 ニーズ把握手法の検討	アンケート集計と分析 館運営への反映 ニーズ把握手法の検討	アンケート集計と分析 館運営への反映 ニーズ把握手法の検討	アンケート集計と分析 館運営への反映 満足度を把握するアンケートの実施	アンケート集計と分析 館運営への反映 ニーズ把握手法の検討	
			実績・成果	アンケート集計を実施 必要に応じて日々の館運営の改善に反映 ニーズ把握手法の検討中	アンケート集計を実施 必要に応じて日々の館運営の改善に反映 ニーズ把握手法の検討中	アンケート集計を実施 ・出品リストのダウンロードサービス開始 ・風土と美術展イベントとして電子申請システムによる意見収集を実施	アンケート集計を実施 ・特別展撮影コーナーの拡充		

7. 広報・情報の発信と公開

(中期計画) 美術館の催し物案内や美術館活動に関する様々な情報の積極的発信を図り、美術館に対する理解と利用の促進を図っていく。

(中期目標)

中期目標の大項目		中期目標の小項目		年度別目標値等と実績・成果				
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
7-①	広報	計画的、効果的広報の推進	目標値等	現状点検 広報先の見直しと開拓 年2回	現状点検 広報先の見直しと開拓 年2回	現状点検 広報先の見直しと開拓 年2回	広報先および手法の開拓	広報先および手法の開拓
			実績・成果	必要に応じて広報先の見直し・開拓を実施	必要に応じて広報先の見直し・開拓を実施	・デジタルサイネージ揭示 新設(本四海峡SA) ・県内サテライトギャラリー をデジタル化し情報発信 を充実	必要に応じて広報先の見直し・開拓を実施	
7-②	ホームページ	ネット利用の情報発信の推進	目標値等	現状点検 推進(見直し)案の随時更新と実施 コンテンツの追加 アクセス数:12万/年 更新頻度:迅速	現状点検 推進(見直し)案の随時更新と実施 コンテンツの追加 アクセス数:12万/年 更新頻度:迅速	SNS発信の強化 コンテンツの追加・更新 アクセス数:12万/年	SNS発信の強化 コンテンツの追加・更新 アクセス数:12万/年	SNS発信の強化 コンテンツの追加・更新 アクセス数:12万/年
			実績・成果	コンテンツの新設・拡充 9件 アクセスIP数 9.88万/年	コンテンツの新設・拡充 9件 アクセスIP数 8.5万/年	ツイート数134 フォロワー増639 コンテンツの追加6件 更新4件 アクセスIP数 9.1万/年	Xポスト数176件 フォロワー増数109人 Instagram投稿数72件 フォロワー増数288人 Instagramの新設 コンテンツの追加6件 アクセスIP数 12.7万/年	

中期目標の大項目		中期目標の小項目		年度別目標値等と実績・成果				
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
7-③	ニュース会員	ニュース会員拡充 新たな形態の検討	目標値等	現状点検 見直し案の検討と実施	現状点検 見直し案の検討と実施	現状点検 見直し案の検討と実施	見直し案の検討と実施 内容の充実	美術館ニュースPDF版の 掲載 紙面購読希望者への対応
			実績・成果	ニュース会員 33名	ニュース会員 13名	ニュース会員 11名 特典内容を拡充した(展覧 会招待を2回に)	ニュース会員 19名、1団 体 ニュース会員制度を令和5 年度末で廃止し、かわっ て、PDF版美術館ニュース の公開及び「郵送料実費 負担による、希望者への 郵送購読を行うこととした。	PDF版をホームページに 公開 郵送購読希望3名

8. 県民参加、協働

(中期計画) 美術館の使命や活動内容の周知と、県民の意見やニーズの把握をふまえて、ボランティアをはじめとする県民との協働を推進し、館運営の活性化と、地域との連携を図っていく。

(中期目標)

中期目標の大項目		中期目標の小項目		年度別目標値等と実績・成果			
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
8-①	ボランティア	美術館を拠点とするボランティアグループ「ビボラボ」の支援と協働 新たなボランティアの検討	目標値等	ボランティア・グループ活動支援 ボランティア・グループとの協働事業の実施 美術館とボランティアに関する研究 アートイベントサポーターの募集	ボランティア・グループ活動支援 ボランティア・グループとの協働事業の実施 美術館とボランティアに関する研究 アートイベントサポーターの募集	ボランティア活動支援 協働事業の実施 アートイベントサポーターの募集	ボランティア活動支援 協働事業の実施 アートイベントサポーターの募集
			実績・成果	アートイベントサポーターの募集 登録者 34名	ボランティア・グループとの協働事業の実施 1件 アートイベントサポーターの募集 対象事業数3種類 登録者39名	協働事業の実施 1件 アートイベントサポーターの募集 ・対象事業 3種類 ・登録者 54名	協働事業の実施 1件 アートイベントサポーターの募集 ・対象事業 3種類 ・登録者 63名
8-②	県民参加・地域連携型事業	県民参加・地域連携型事業の企画と実施(チャレンジとくしま芸術祭等)	目標値等	チャレンジとくしま芸術祭の実施 県民参加・地域連携型事業の検討	チャレンジとくしま芸術祭の実施 県民参加・地域連携型事業の検討	チャレンジとくしま芸術祭の実施 県民参加・地域連携型事業の実施	チャレンジとくしま芸術祭の実施(今年度終了) 新たな県民参加・地域連携型事業の立案
			実績・成果	チャレンジとくしま芸術祭(2021.1.19-31)の実施 参加者:展示部門42組(応募62組)、パフォーマンス部門18組(応募21組)、入場者 2,530人 チャレンジとくしま芸術祭受賞者発表会の実施 入場者:231名 コラボ企画 1回 9人(オンライン開催)	チャレンジとくしま芸術祭(2022.1.25-2.6)の実施 参加者:展示部門42組(応募74組)、パフォーマンス部門15組(応募26組)、入場者 1,662人 チャレンジとくしま芸術祭受賞者発表会の実施 入場者:298名 コラボ企画 1回 16人(中止1回)	チャレンジとくしま芸術祭・展示部門42組(応募54組) ・パフォーマンス部門18組(応募29組) ・入場者 1855人 ・受賞者発表会 入場者:236名 コラボ企画 10回 405人	チャレンジとくしま芸術祭の実施(今年度終了) 新たな県民参加・地域連携型事業の立案 チャレンジとくしま芸術祭・展示部門42組(応募85組) ・パフォーマンス部門18組(応募30組) ・入場者 2506人 ・受賞者発表会 入場者:404名 コラボ企画 9回 476人

	県民参加・地域連携型事業	県民参加・地域連携型事業の企画と実施(チャレンジとくしま芸術祭等)	実績・成果	「ユニバーサルミュージアム展開事業」として、ボディランゲージを取り入れた美術鑑賞の試みを短編ビデオとして作成。ガイドランス用のモニターや音響機材、筆談プログラム用のテーブルを導入した。「ユニバーサル美術館展」を開催し、動くピクト映像によるサイン、やさしい日本語による作品案内パネルの提案を行った。耳が聞こえない講師によるノンバーバルコミュニケーション講座を実施。展示解説の手話通訳や、視覚障がい者向けの展示案内なども継続している。	「ユニバーサルミュージアム展開事業」として、来館前にみるページ「イテミヨ」、ビデオによるフロアマップを作成、利用案内サイトを新設し多言語化(英・繁・簡・ベトナム)ガイドランス用AV機器や撮影機材を追加。「ユニバーサル美術館展」を開催し、車椅子利用者に配慮した観覧方法やサインを提案。障がい当事者を含むサポーターと協働でイベントを企画・実施。展示解説の手話通訳や、視覚障がい者向けの展示案内なども継続している。	ユニバーサルミュージアム展開事業 ・障がい当事者を含むサポーターと協働でイベントを企画・実施 ・展示解説の手話通訳や、視覚障がい者向けの展示案内を継続	ユニバーサルミュージアム展開事業 ・障がい当事者を含むサポーターと協働でイベントを企画・実施 ・展示解説の手話通訳や、視覚障がい者向けの展示案内を継続	
8-③	SDGs関連事業	SDGs関連事業の検討	目標値等	SDGs関連事業の検討	SDGs関連事業の検討	SDGs関連事業の実施	SDGs関連事業の実施	SDGs関連事業の実施
			実績・成果	検討準備中	検討準備中	ユニバーサルミュージアム展開事業 ・美術館サイト主要部分のレスポンス化 ・センサリーフレンドリーの検討として明治大学と協働でサウンドマスキングのワークショップを開催。結果をユニバーサル美術館へ反映。 ・ユニバーサル美術館展を開催し、高齢者の利用への提案として作業テーブルやピクトグラムによるサイン、話しやすい環境のためのマスキング音を実施。 ・デイサービスへの見学誘致	ユニバーサルミュージアム展開事業 ・色覚バリアフリーをテーマとする入門的なイベントや研修会を実施。 ・ユニバーサル美術館展を開催し、色覚特性に関する情報を交えた案内パネルや掲示板を設置。話しやすい環境のためのマスキング音を前年に引き続き実施。 ・視覚障がい、聴覚障がい者をテーマとした座談会、研修会を実施。	

9. 組織・人員

(中期計画) 美術館活動の活性化と健全な経営に主体的に取り組めるよう、適切な組織体制を構築し、職員意識や資質の向上を図っていく。

(中期目標)

中期目標の大項目		中期目標の小項目	年度別目標値等と実績・成果				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
9-①	学芸員の社会的理解と資質の向上	学芸員の社会的理解を深める 学芸員の研修機会の確保	学芸員の館外での活動(講座等)の実施	学芸員の館外での活動(講座等)の実施	学芸員の館外での活動(講座等)の実施	学芸員の館外での活動(講座等)の実施	学芸員の館外での活動(講座等)の実施
			研修等への計画的参加 講座等 9回 研修参加 1回	研修等への計画的参加 講座等 11回 研修参加 2回	研修等への計画的参加 講座等 10回 研修参加 4回	研修等への計画的参加 講座等 19回 研修参加 5回	研修等への計画的参加
9-②	組織の整備・改善	組織の整備・改善(専門職の位置づけ、総務事務等の効率的な分担等) 館長もしくは副館長の専門職化	関係部署等への働きかけ	関係部署等への働きかけ	より効率的な組織の運営	従来の業務の見直しを行い効率的な引継を図る。	世代交代を推進する。
			専門職の副館長が不在となったため、働きかけている。	専門職の副館長が不在となったため、働きかけている。	学芸交流担当 計11名 ・学芸員 10(うち再任用 3) ・教員 1 ※R4年度学芸員新規採用 2名含む	学芸交流担当 計12名 ・学芸員 11(うち再任用 3) ・教員 1(再任用、10月末で退職) ※R5年度学芸員新規採用 2名含む	学芸交流担当 計9名 ・学芸員 9(うち再任用 1) ※R7年度学芸員新規採用予定 1名

10. 財務・社会的支援

(中期計画) 健全な美術館経営を行えるよう、社会的支援の拡充を図るとともに経費節減や収入増を図っていく。

(中期目標)

中期目標の大項目		中期目標の小項目	年度別目標値等と実績・成果				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
10-①	歳入源の確保	協賛金、助成金、広告収入等による財源確保 観覧料の見直し検討 図録販売促進	目標値等 協賛金、助成金等の研究と申請 広告収入の確保	協賛金、助成金等の研究と申請 広告収入の確保	協賛金、助成金等の確保 広告収入の確保	協賛金、助成金等の確保 広告収入の確保	協賛金、助成金等の確保 広告収入の確保
			実績・成果 美術館ニュースへの広告(4コマ) 地域創造 創造(企画制作向上特別)プログラム 1,000万円 ドイツ20世紀アート展実行委員会徳島新聞出資 150万円	美術館ニュースへの広告(4コマ) 地域創造 創造(企画制作向上特別)プログラム 520万円 芸術文化振興基金107万 クラウドファンディング 2,384,500円	地域創造 創造(企画制作力向上特別分)プログラム 520万円 美術館ニュースへの広告(4コマ)	地域創造 創造(企画制作力向上特別分)プログラム 580万円 美術館ニュースへの広告(4コマ)	地域創造 創造(企画制作力向上特別分)プログラム 290万円 芸術文化振興基金200万 エミール・ガレ展実行委員会徳島新聞出資 1150万円 美術館ニュースへの広告
10-②	経費節減	見直しを行い経費節減を図る * H22以降、廊の見直しにより、美術館は2号廊ではなくなり、美術館のみの決算ができない、そのため、当初予算額(美術館費)のみの比較とする。	目標値等 経費節減 数%	経費節減 数%	外部財源獲得	外部財源獲得	外部財源獲得
			実績・成果 対前年度当初予算額(千円)比(%) 33,853/47,266=72% *別途30周年事業として「アートによる文化プログラム促進事業」33,500千円(ドイツ展、野外彫刻展)	対前年度当初予算額(千円)比(%) 40,106/33,853=118%	当初予算額 38,448(千円) 外部財源 520万(地域創造)当初に含む	当初予算額 39,941(千円) 外部財源 580万(地域創造)当初に含む	当初予算額 43,043(千円) 千客万来事業として1100万(ユーモア、大久保、ガレ展) 外部財源 290万(地域創造):当初に含む 200万(芸術文化振興基金):当初に含まず

第四期(令和2年度～6年度)
重点取り組み事項

- ① 地域に根ざした活動、地域連携
- ② 利用者サービス(対応)の向上
- ③ 資料整理
- ④ 情報発信

